

2020-21 年度会長 ホルガー・クナーク 2020 年 12 月



2020 年を振り返ると、人びとの生活が大きく変わったことを思われます。新型コロナウイルスの全世界的パンデミックは多くの人びとに苦難をもたらしました。また、日常生活や家族との時間の過ごし方、働き方も変わりました。それでも、この試練の 1 年もようやく乗り越えられそうです。それは、自分だけでの力ではなく、ロータリーがいつもそうしているように、お互いに手を差し伸べたからです。毎年、1 年が過ぎるごとに、私はロータリーを以前に増して誇りに思います。

ロータリーはパンデミックに際しても立ち止まりませんでした。私は、2020 年を私たちにとって大きな変化の力になった年として記憶にとどめようと思います。障害を取りのぞき、つながる新しい方法を見つけだし、オンラインでのプロジェクトやバーチャル形式の募金活動など、新しいやり方の奉仕活動を積極的に採り入れました。今年ロータリーが以前にも増して強固になったことを物語るストーリーを、ふたりのロータリアンに話してもらいましょう。

「パンデミックで活動自粛になった時、私たちの新しい E クラブはすでに国際的にもオンラインで奉仕活動を行っていました。私は複数のロータリークラブに所属する 14 名の米国人女性と一緒に、WhatsApp を使ってコスタリカの農村に暮らす女性の起業家たちにメンタリングを行い、彼女たちのエコツーリズム事業、RETUS Tours [5 月号の特集記事、"Nature & Nurture"] を成長させる方法を授けました。このプロジェクトは拡大し、今では 30 名のロータリアンがコンサルティングを行い、RETUS のウェブサイトや SNS 運用を手伝っています。何より大事なことは、彼女たちとの絆を深め、自分の人生を変える後押しを続けてきたことで、しかもそれをオンラインで行っているのです。私はそのうちのひとり、ロサさんが国際的なオンライン・カンファレンスで英語のプレゼンを行うのを手伝いました。コスタリカの女性たちとの取り組みにはまだ実地での活動が必要な部分もありますが、変革的な最大の変化は、対面ではなくても実現することができたのです。」 —リーザ・ラーソン、ロータリー E クラブ・エンゲージ、プラノイスト・ロータリークラブ (テキサス州)

「新型コロナウイルスの流行が始まった時、私はクラブ会長を務めていましたが、会員の多くはまだ Zoom は使っていませんでした。パンデミックにより初めて Zoom で行った例会では、53 名の会員のうち参加したのは 10 名だけでした。そこで私は手を差し伸べて、世界中からゲストスピーカーを招き、うちの会員に話してもらうのはどうだろうかと考えました。多くのロータリーリーダーやロータリー平和フェロー、さらにはホルガー・クナーク RI 会長までバーチャルでクラブ例会を訪れ、話してくれました。例会の出席率が高まる一方で、食事がなくなったため運営費は削減できました。勤務地が遠く例会に出られなかった会員たちも、ふたたび参加してくれるようになりました。My ROTARY にオンライン例会を登録することで、世界中のクラブと交流が生まれ、ホルガー会長が登壇した合同会合には 300 人以上の訪問者が出席しました。また、会員や訪問者がうちのプロジェクトに寄付してくれたため、資金も以前より集まりました。全員にとって柔軟なクラブであり続けるために、今では対面とオンラインのハイブリッド型で例会を行っています。私にとって、2020 年は多くの新しい友との出会いがあり、ロータリーに入会して以来最高の年となりました。」 —ブレッシング・マイケル、ポートハーコートノース・ロータリークラブ (ナイジェリア)

こういったお話をうかがうと、今後のロータリーにますます期待が高まります。ロータリーはパンデミックを乗り切っているどころか、この危機にますます力を得ているのです。ロータリーの底力というものを、私たちは今年見せつけられました。たとえパンデミックの最中でも、ロータリーが機会の扉を開き、成長し、人と人をつなげ、会員と地域社会に働きかける姿を、私たちは目の当たりにしました。ラツェブルクの自宅から、スザンヌとともに皆さんとご家族にクリスマスのご挨拶を送ります。よいことをもたらしてくれる 2021 年が待ちきれません。

2020 年 12 月 13 日 RLI パートⅢが開催されました！

今年の受講者は 33 名、卒業者は 14 名でした。
卒業されたロータリアンにはバッジが贈呈されます。



| 受講者番号 | クラブ名 | 氏名 | ふりがな |
|-------|---------|-------|-----------|
| 2 | 河口湖 | 藤原 徳仁 | ふじわら のりひと |
| 7 | 甲斐 | 内藤 英久 | ないとう ひでひさ |
| 9 | 伊東 | 草山 定胤 | くさやま さだつぐ |
| 12 | 長泉 | 小原 秀樹 | おはら ひでき |
| 13 | 沼津西 | 植松 正 | うえまつ ただし |
| 16 | 清水北 | 野田 高志 | のだ たかし |
| 20 | 清水中央 | 渡邊 芳一 | わたなべ よしかず |
| 22 | 静岡北 | 吉田 空玄 | よしだ こうげん |
| 23 | 焼津 | 杉本 昭 | すぎもと あきら |
| 25 | 袋井 | 平野 清隆 | ひらの きよたか |
| 27 | 浜松東 | 鈴木 宏政 | すずき ひろまさ |
| 31 | 浜名湖 | 内山 悦二 | うちやま えつじ |
| 32 | 浜松ハーモニー | 山口 勝義 | やまぐち かつよし |
| 37 | 静岡 | 志田 洪顯 | しだ ひろあきら |

会員増強委員会より

1年で51人の会員増強を行った高崎ロータリークラブのお話をさせていただきます。

2017-18年度、第2840地区のガバナーであった田中久夫様が、2014-15年度に、高崎ロータリークラブ会長として実施された会員増強に関する事例であります。

| | | |
|--|--|--|
| <p>事例1. 1年で51人増強の実例紹介 (高崎RC)</p> <p>I 毎月開催した「夜間・会員増強会議」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 若手人脈が豊富そうな若手を、会議のコアメンバーとして人選 2. 各人が入会の可能性のある候補者を事前にリストアップ 3. その場で順位付け・電話攻勢 ⇒ 訪問アポを取る (翌日がベスト) 4. 翌日、戸別訪問 ⇒ 入会申込み完了 | <p>事例1. 1年で51人増強の実例紹介 (高崎RC)</p> <p>II 持ち歩く三種の神器</p> <p>候補者を口説く際に、ロータリーを説明する資料として有効と思われる3つの道具</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入会申込書 2. クラブの結核書 (A4版1枚に、ロータリーの意味・クラブの歴史・例会日と例会場・費用・会員数・平均年齢・同好会等を集約したもの) 3. 「ロータリーの友」誌 | <p>事例1. 1年で51人増強の実例紹介 (高崎RC)</p> <p>III 新会員を迎える例会等の工夫</p> <p>【実施して良かったと思われること】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 例会の着席場所を、毎回抽選にしたこと 2. 意味の同じ者が集う部活を創設 3. 他クラブとの改訂文芸会を積極的に行う 4. 新会員にも役割を付けたこと <p>【実施すれば良かったと思っていること】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族同伴の夜間例会を頻りに実施すればよかった 2. 若手の方には、会費を少なくすればよかった (会費の柔軟化) 3. 友好クラブをたくさん創ればよかった |
| <p>事例1. 1年で51人増強の実例紹介 (高崎RC)</p> <p>IV KOCキャンペーンの実践</p> <p>「Know Other Clubs (KOC) キャンペーン」を実施しました。メーキャップ回数を競争する運動で、年度末に表彰しました。</p> <p>目的は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 他クラブにいる友人に会うことができ、情報交換ができる。 2. メーキャップを知らない新会員を連れ、他クラブの雰囲気を感じさせる。 3. 他クラブの良いところを知り、自クラブの欠点が見える。 | <p>事例1. 1年で51人増強の実例紹介 (高崎RC)</p> <p>V ロータリー紹介の説明会(夕食会)の開催</p> <p>入会候補者を集めて、月1度の説明会(夕食会)を開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 費用はクラブが負担 2. ポイントは、誰に説明させるかと言うこと 面白おかしく説明できる人を講師に選ぶことが成功のカギ 3. ロータリーの歴史の説明など、面白い話は不要 いかに楽しい会であるか、いかに候補者にとって有用であるかが大切 | <p>事例1. 1年で51人増強の実例紹介 (高崎RC)</p> <p>つまり・・・</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 若者 よく動いて活気に満ちた人 (若手会員) <ol style="list-style-type: none"> 1) 会員増強担当者の若選り人選を図る 2) 新会員のターゲット層 (若者・女性) を取る 2. バカ者 常識にとらわれず新鮮で突飛な発想をする人 <ol style="list-style-type: none"> 1) 会長・幹事の役割です。増強バカに徹することです 2) 罵りからの根を気にしない強固な意志を持つ 3. よそ者 異なった視点から物事を見られる人 (新入会員) <ol style="list-style-type: none"> 1) 新会員周辺の新しい人脈を活用しよう 2) 新会員の弱項に代るため、魅力あるクラブ活動への見直し |

新入会員は、同世代の友人や新たな人脈の開発には、なくてはならない存在です。そのために、新入会員の期待に応えるためにも、魅力あるクラブ活動を続けていただきたいと思います。

ロータリー文庫運営委員会からののお知らせです

文庫通信 [384]

ロータリー文庫通信 384号 2020年11月

手続要覧の日本語版は、宮脇富パストガバナーが「Manual of Procedure」を「手続要覧」と訳され、ロータリーの友 1955年2月に掲載されたのが最初だそうです(詳細は下記2編を参照)。最初の英語版は定かではありませんが、1920年版から収録されています。手続要覧も少なくとも100年の歴史があるということで、国際ロータリーの歴史と共に手続要覧の構成、内容も変化してきました。何のため、誰のためのものであるのか、という視点で読み比べることも一興です。



ロータリー文庫ウェブサイト
文庫の閲覧は会員限定になります

ロータリー文庫検索サイトで文庫を閲覧するには、ログインパスワードが必要になります。利用方法は、①検索画面で文庫を検索、②検索結果から閲覧したい文庫の項目「※」をクリック、該当PDFのリストが表示されます。③④pdfリンクをクリック、ログイン画面が表示されます。⑤ユーザー名とパスワードを入力すると、PDFが閲覧できます。ユーザー名、パスワードは各ガバナー事務所を通じてクラブに送付いたしております。

お問い合わせ
ロータリー文庫
ウェブサイト www.rotary-bunko.gr.jp
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-0-15
黒龍堂公園ビル 3階
Tel:03-3433-6456 Fax:03-3459-7506

| 書名 | 著者/出版社 | 発行年 | 頁 |
|--|--------------------|--------------|------|
| 手続要覧を読む | 重田政信 高崎北 R.C. | 友: 2006・9月 | 1P |
| 手続要覧 (手続要覧) 日本語版 | 手島知健・宮脇富訳 - | 友: 1955~1956 | 83P |
| ロータリーの歴史年表 (2020年6月改訂版) | 諏訪昭登 広島西 R.C. | 2020 | 12P |
| 国際ロータリーの挑戦 | 松宮剛 D.2820 地区大会記念誌 | 2020 | 6P |
| 異論・正論 ロータリーを語ろう | 久野薫 神戸東 R.C | 2020 | 128P |
| ロータリー・違いをもたらそう ROTARY One Difference | 江崎柳節 小牧 R.C | 2020 | 137P |
| Guy Gundaker から学ぶロータリー -改訂版- 「A Talking Knowledge of Rotary」の世界 - | 鈴木一作 寒河江 R.C. | 2020 | 62P |

国際ロータリー 2620 地区会員数

※ 2020年11月現在

| | 期首 会員数 | 前月末 会員数 | 当月末 会員数 | 当月増 | 当月減 | 通算増 | 通算減 | 女性 会員数 |
|-------------|-----------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|-----------|
| 77クラブ 合計 | 2858 | 2911 | 2909 | 7 | 9 | 94 | 43 | 215 |

国際ロータリー 2620 地区 2020-21 年度ガバナー事務所
〒420-0853 静岡県静岡市葵区追手町 2-12 安藤ハザマビル 5階
TEL: 054-251-2620 FAX: 054-251-2621

